

## 本県の地下水（量）の現状について

## I 地下水の概況

## 1 現行指針に基づく指標の達成状況

## (1) 適正揚水量（年間）

## [目標]

地下水の適正利用の観点から、指標として年間の適正揚水量を地下水区ごとに設定し、実際の地下水揚水量がこれを上回らないこととする。

## [現況]

全ての地下水区で地下水揚水量（R3年度）が適正揚水量を下回っている。

【表】地下水区ごとの地下水揚水量及び適正揚水量とその比

地下水区		地下水揚水量 (R3) (万m <sup>3</sup> /年)	適正揚水量 (万m <sup>3</sup> /年)	地下水揚水量 /適正揚水量	状 況
氷見地域	氷見地区	91	540	17(%)	達 成
高岡・砺波 地域	扇頂部	316	750	42(%)	
	扇中央部	2,540	6,220	41(%)	
	扇端部	1,087	2,280	48(%)	
	市街地部	570	1,890	30(%)	
	海岸部	350	1,220	29(%)	
富山地域	扇頂部・扇中央部	5,015	7,000	72(%)	
	扇端部	1,191	1,780	67(%)	
	市街地部	2,252	3,240	70(%)	
	海岸部	1,240	2,220	56(%)	
魚津・滑川 地域	魚津地区	1,461	3,170	46(%)	
	滑川地区	950	1,760	54(%)	
黒部地域	扇頂部・扇中央部	412	1,850	22(%)	
	扇端部	855	3,770	23(%)	
	市街地部	194	820	24(%)	
	海岸部	1,096	4,090	27(%)	
	小川右岸部	438	2,120	21(%)	

(2) 冬期間の注意喚起水位

[目標]

取水障害の発生抑制の観点から、急激な地下水位の低下がみられ、取水障害のおそれのある地域（富山市、高岡市）において、注意レベルや警戒レベルの地下水位を指標として設定し、地下水位低下時に地下水利用者への情報提供や自主的な節水の呼びかけを行い、地下水位の速やかな回復に努めるものとする。

[現況]

令和3年1、2月に富山市で注意レベルの地下水位を下回ったことから注意報を発令し、地下水利用者に節水への協力の呼びかけを実施した。

節水の呼びかけとその後の天候の回復により、速やかに注意レベルを上回るまで地下水位が回復している。

【表】注意報等発令（注意喚起水位を下回り、地下水利用者に節水を呼びかけ）実績

年 度	発令の有無等	状 況
H30～R1	なし	達 成
R2	富山市 注意報2回 (R3年1月8日～12日、2月18日～19日) ・HP(県・富山市)、Twitter、報道機関等を通じての呼びかけ(*)とともに、揚水量の多い250工場・事業場にはFAXで直接協力を呼びかけた。 ・2回とも、注意レベルの地下水位を上回るまで回復し、悪化のおそれがないことから解除	
R3～R4	なし	

\* 報道のテロップでも、降積雪・交通状況等とともに地下水位低下注意報発令が表示された。

※ 注意報等発令の詳細については、参考資料4参照

(3) 保安林の指定面積

[目標]

地下水の利用と涵養の均衡を図り、水循環系の健全性を確保する観点から、森林について国や県が指定する「保安林」の指定面積を指標と定め、現況(H28)よりも増加させることを目指す。

[現況]

現行指針改定時より増加している。

【表】保安林の指定面積

H28	R3	状 況
92,462 ha*	92,651 ha*	達 成

\* 令和4年度版「富山県森林・林業白書」

## 2 地下水揚水量の推移

### (1) 地下水揚水量（年間）（図 2 - 1）

- ・ 地域により増減は異なるが、全ての地域において、年間の地下水揚水量が適正揚水量（※）を下回っている。
- ・ 工業用の地下水揚水量は、減少又は横ばい傾向にあるが、消雪用の地下水揚水量は、降雪量による変動はあるものの、増加傾向にある。

※ 塩水化の進行や大幅な地下水位の低下等の地下水障害を生じさせない揚水量

## 3 地下水位の推移

### (1) 地下水位（年平均値）（図 2 - 2）

- ・ ほぼ横ばいだが、一部の観測地点で上昇、低下傾向が見られる。

### (2) 4月から11月の地下水位（期間平均値）（参考資料 2 の 1）

- ・ 年平均値と同様、ほぼ横ばいだが、一部の観測地点で上昇、低下傾向が見られる。

### (3) 地下水位（月平均値）（参考資料 2 の 2）

- ・ 消雪設備が集中している市街地で12月から3月の冬期間に地下水位の大幅な低下がみられる。

## 4 塩水化の状況（図 2 - 3）

塩水化調査における塩化物イオン濃度に大きな変動はなく、塩水化の進行は見られない。

## II その他

### 1 土地利用状況（参考資料 2 の 4）

水田の面積は減少傾向にあり、令和 4 年（2022 年）の面積は、平成 2 年（1990 年）から 15%、現行指針改定時（平成 29 年（2017 年））から 1%減少している。（農林水産省「作物統計調査 統計調査」）

### 2 雨及び雪の降り方

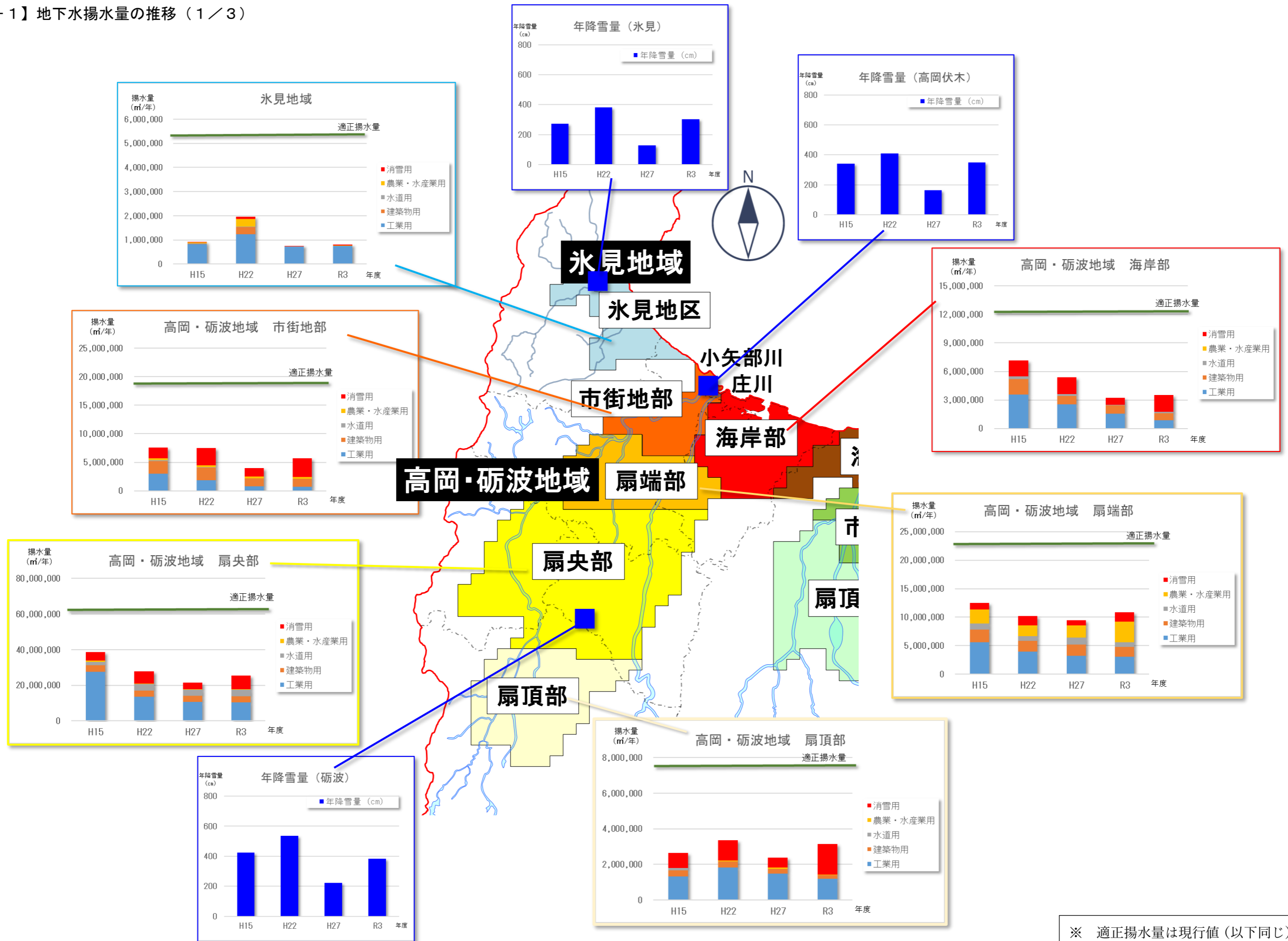
#### (1) 雨の降り方（参考資料 2 の 5）

- ・ 降水量は大きな変動が見出せないが、今後、気候変動の影響により、大雨及び無降水日数が増加すると予測されている。（気象庁「富山県の気候変化」HP）

#### (2) 雪の降り方（参考資料 2 の 3、5）

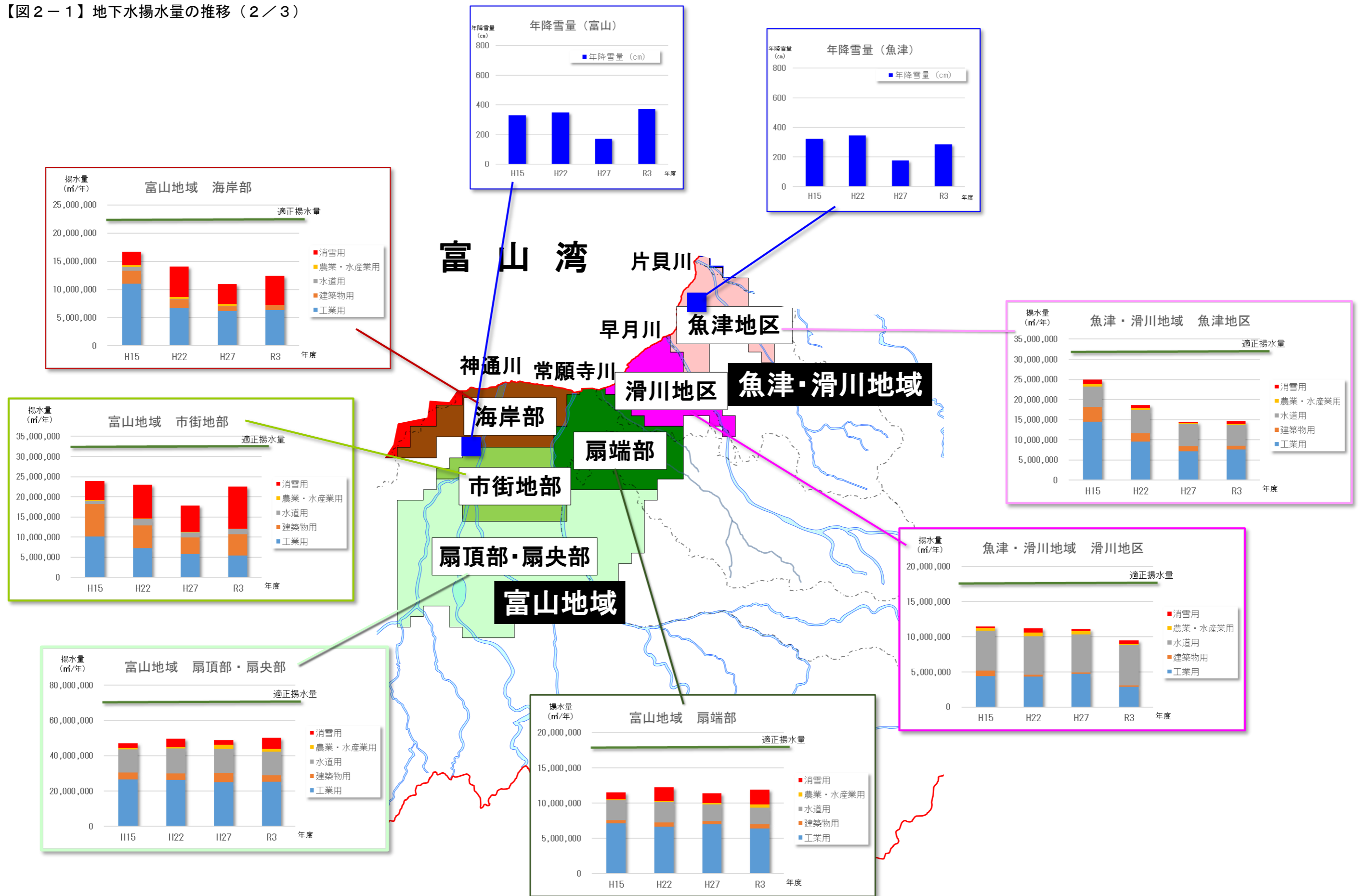
- ・ 年降雪量は総じて減少傾向にあるとみられるが、近年の日降雪量の最大値（大雪時の日降雪量）や 20cm 以上の日降雪量があった日数に減少傾向は見られない。今後の気候変動により、年降雪量は減少するが、ドカ雪のリスクは依然として残ると予測されている。（富山県「富山県カーボンニュートラル戦略（令和 5 年 3 月）」等）

【図2-1】地下水揚水量の推移（1/3）

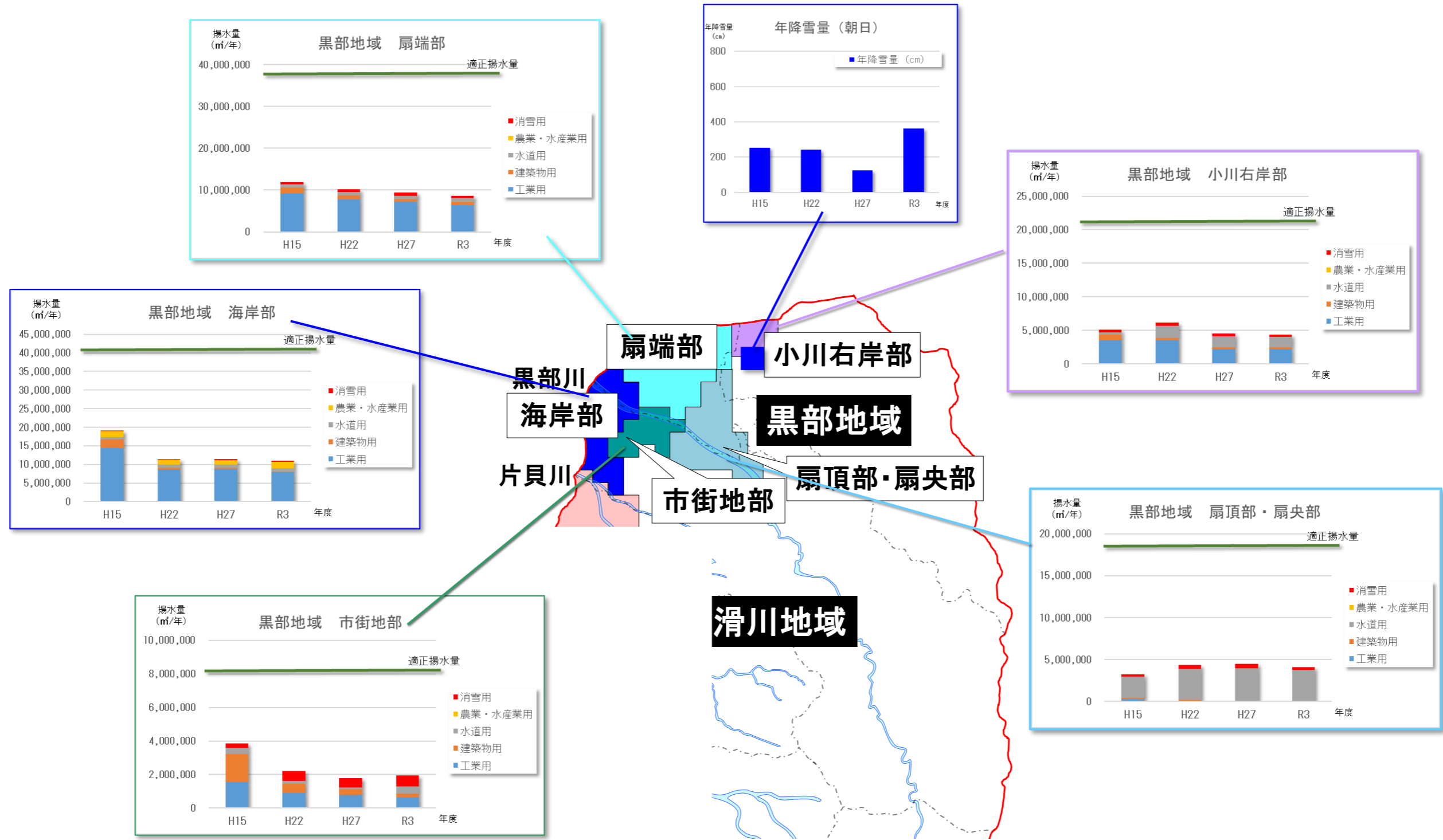


※ 適正揚水量は現行値（以下同じ）

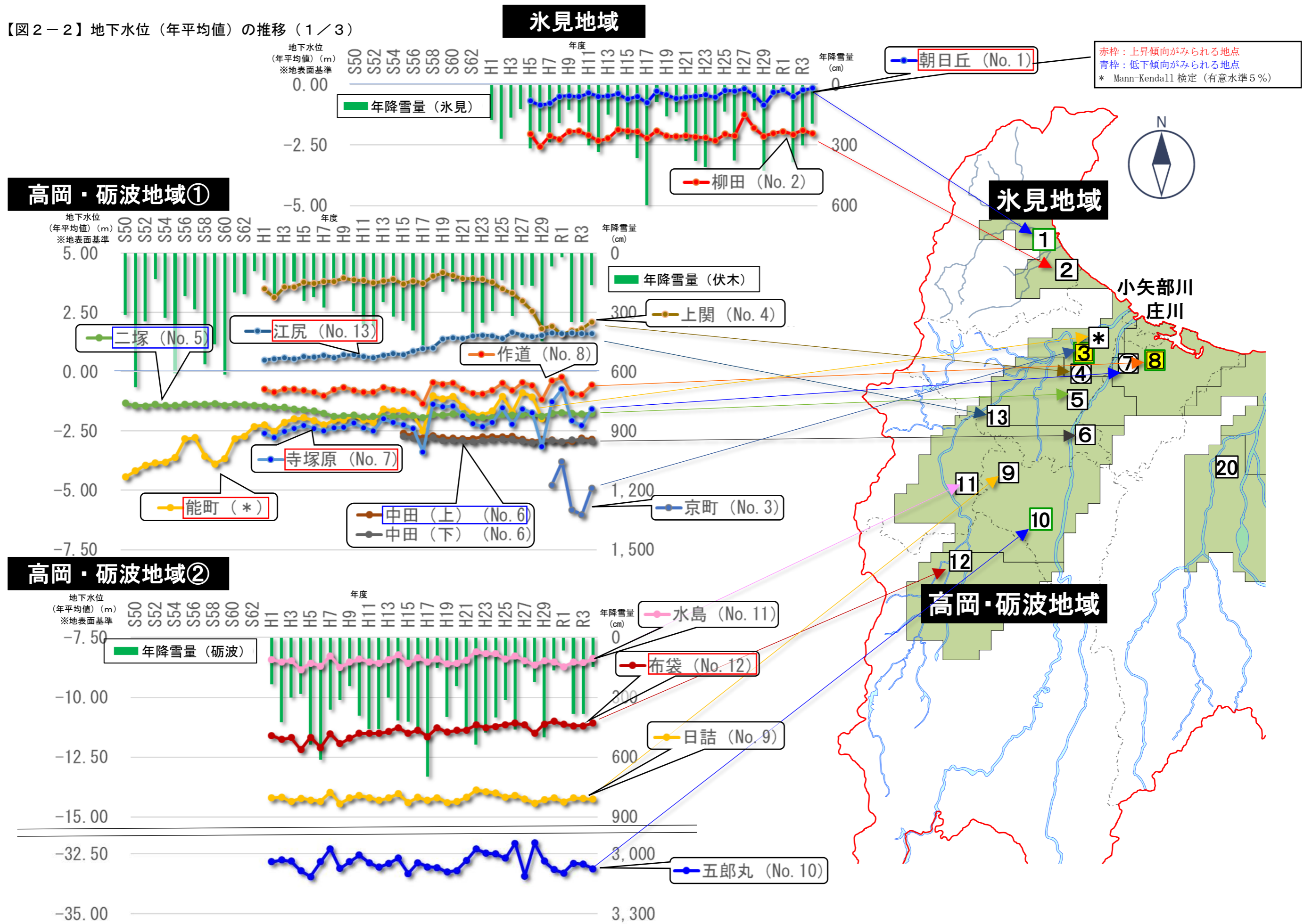
【図2-1】地下水揚水量の推移（2/3）



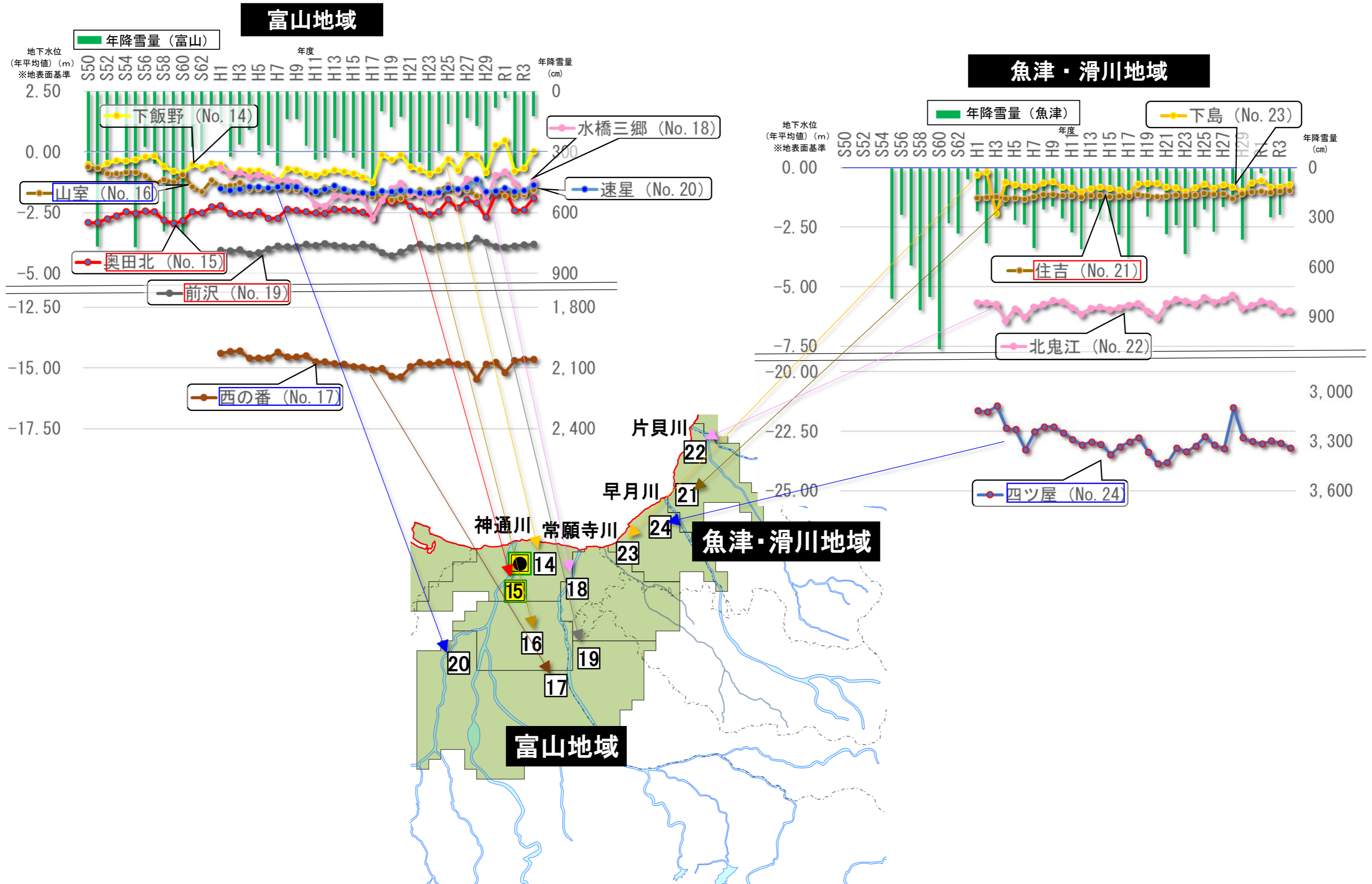
【図2-1】地下水揚水量の推移（3／3）



【図2-2】地下水位（年平均値）の推移（1/3）

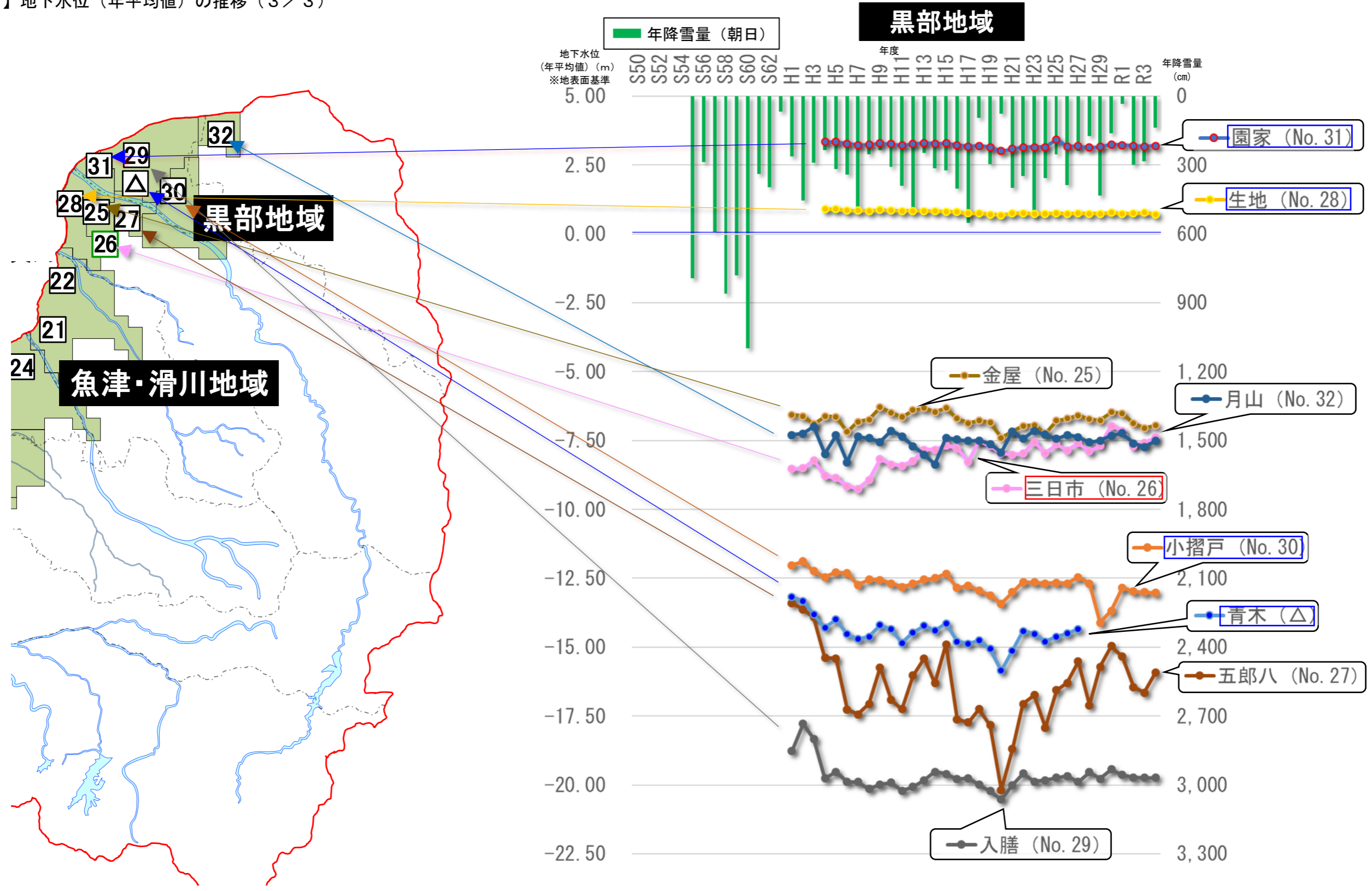


【図2-2】地下水位（年平均値）の推移（2/3）





【図2-2】地下水位（年平均値）の推移（3/3）



【図2-3】塩化物イオン濃度の範囲の推移

